

## 城ヶ崎海岸の海岸生物観察会報告

6月11日（日）加太の城ヶ崎海岸で海岸生物の観察会を行いました。

8校から教員9名、生徒28名の参加がありました。

生物教育研究会のメンバーだけでなく、定点調査を行っている、大阪湾海岸生物研究会のメンバーや大阪市立自然史博物館のジュニア自然史クラブのメンバーも一緒だったので、城ヶ崎の広い磯も人でいっぱいでした。

当日観察された生物は、海藻のシーズンはそろそろ終わりですが、アオノリ類・タマゴバロニアなど緑藻4種（アナアオサがなくなりました）、褐藻22種（ワカメはほぼ枯れていました）、紅藻35種。海綿動物6種、

刺胞動物（シロガヤとイソギンチャク）7種、

扁形動物2種、紐形動物（ヒモムシ）3種、

腕足動物（スズメガイダマシ）1種、苔虫動物3種。

軟体動物のうち多板類8種、腹足類（巻き貝の仲間。笠貝の仲間・ウミウシを含む）83種、二枚貝類19種、頭足類1種。

星口動物2種、環形動物18種、節足動物25種、棘皮動物9種、脊索動物（ホヤ類）6種



トサカマツ



アオウミウシ



レイシガイ

(?)、魚類21種。記録の聞き落としがありそうなのですが、合計280種以上見つかりました。今シーズンの海岸生物の観察会は今回で終了です。たくさんのご参加ありがとうございました。来シーズンも、生物多様性を実感できる海辺に是非足を運んでください。

（文責 河添）